10-5 全国験潮連続観測結果

Results of the Continuous tidal observations all over Japan

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図-(1)~第11図-(2)は,海岸昇降検知センターに登録されている各験潮場の地殻上下変動を加藤・津村(1979)の解析方法に基づき解析した結果である。

第1図-(1)および第1図-(2)は,北海道地方の験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。北海 道北部・東部の験潮場では沈降の傾向が見られる。特に,北海道東部地域の験潮場において顕著で あり,太平洋プレートの沈み込みに伴う影響と考えられる。花咲(根室半島)および釧路では,そ れぞれ1994年北海道東方沖地震,1993年釧路沖地震のコサイスミックな変化が捉えられている。北 海道南西部の験潮場では,それほど顕著な変化はみられない。

第2図-(1)および第2図-(2)は,東北地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。日本 海側では特に顕著な変化は見られない。東北地方太平洋沿岸では,全体的に沈降の傾向が見られ, 太平洋プレートの沈み込みに伴う影響が考えられる。

第3図は,関東地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。房総半島先端の布良験潮 場は沈降の傾向を示している。三浦半島の横須賀および油壺験潮場の沈降が顕著である。

第4図は,伊豆半島周辺の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。初島,伊東の隆起が 顕著である。

第 5 図は,東海地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。清水港,焼津,御前崎各 験潮場の沈降が顕著である。

第6図は,中部地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。特に顕著な変化はみられない。鳥羽験潮場に関しては,地盤沈下の影響があると考えられる。

第7図-(1)および第7図-(2)は,近畿地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。紀伊 半島南端の串本の沈降が特徴的である。神戸験潮場の初期の大きな変動は地盤沈下の影響と考えら れる。洲本,宇野,高松,小松島で沈降がみられる。

第8図は,北陸地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。粟島が沈降しているよう に見える。

第9図は,山陰地方の各験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。舞鶴の沈降が見られるが, 特に顕著な変動ではない。

第10図は,瀬戸内西部と四国南部の験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。室戸岬の沈降 が顕著である。高知,土佐久礼では隆起が見られるほか,広島,呉,徳山は沈降の傾向を示してい る。

第 11 図-(1)および第 11 図-(2)は,九州地方の験潮場の推定地殻上下変動の経年変化である。特に 顕著な変化は見られない。鹿児島の変動は,この地域の火山活動に関連しているものと思われる。



第1図-(1) 加藤・津村(1979)の方法により求めた北海道地方各験潮場の上下変動(1) Fig.1-(1) Vertical movements of the tide stations in the Hokkaido district. (1 of 2)



第1図-(2) 加藤・津村(1979)の方法により求めた北海道地方各験潮場の上下変動(2) Fig.1-(2) Vertical movements of the tide stations in the Hokkaido district. (2 of 2)

₽₽ 松前吉岡







第2図-(2) 加藤・津村(1979)の方法により求めた東北地方各験潮場の上下変動(2) Fig.2-(2) Vertical movements of the tide stations in the Tohoku district. (2 of 2)



第3図 加藤・津村(1979)の方法により求めた関東地方各験潮場の上下変動 Fig.3 Vertical movements of the tide stations in the Kanto district.











5 0 -5 -10

-20

加藤・津村(1979)の方法により求めた伊豆地方各験潮場の上下変動 第4図 Vertical movements of the tide stations in the Izu district. Fig.4





第 5 図 加藤・津村(1979)の方法により求めた東海地方各験潮場の上下変動 Fig.5 Vertical movements of the tide stations in the Tokai district.





第6図 加藤・津村(1979)の方法により求めた中部地方各験潮場の上下変動 Fig.6 Vertical movements of the tide stations in the Chubu district.



第7図-(1) 加藤・津村(1979)の方法により求めた近畿および四国の各験潮場の上下変動(1) Fig.7-(1) Vertical movements of the tide stations in and in Kinki and Shikoku districts.(1 of 2)





第7図-(2) 加藤・津村(1979)の方法により求めた近畿および四国の各験潮場の上下変動(2) Fig.7-(2) Vertical movements of the tide stations in and in Kinki and Shikoku districts.(2 of 2)



 $\begin{array}{c} c_{u} & \mbox{\widehat{h}} = .15 \mbox{$mm/year} \\ & \mbox{$\widehat{0}$} & \mbox{$\widehat{0}$} & \mbox{$\widehat{1}$} & \mbox{$\widehat{1$

















第9図 加藤・津村(1979)の方法により求めた山陰地方各験潮場の上下変動 Fig.9 Vertical movements of the tide stations in the Sanin district.



第 10 図 加藤・津村(1979)の方法により求めた瀬戸内西部、四国南部地方各験潮場の上下変動 Fig.10 Vertical movements of the tide stations in the western Seto inland sea region and in the southern part of the Sikoku island.







第 11 図-(2) 加藤・津村(1979)の方法により求めた九州地方各験潮場の上下変動(2) Fig.11-(2) Vertical movements of the tide stations in the Kyushu district. (2 of 2)